

令和 4 年度社会実験の実施方針（案）

1. コンセプト

- ①「笠松みなと公園」を核とし、新たな河川敷利用の実現に向け、経済効果も含めた「食」や「アトラクション」の深化、「学び」の場としての公園利用、他の企画との連携のあり方など、木曾川河川敷の多様な利用のポテンシャルの発掘につなげる。
- ②民間活力を活用した官民連携による事業推進のための基盤形成につなげる。

2. 目的

- ・コンセプト実現のためのポテンシャルの把握
- ・事業（「リバーサイドタウンかさまつ計画」）具体化に向けた各種課題の発見
- ・民間主体の運営方式への移行の下地づくり
- ・事業全体像の関係者間での共有

3. 方針

第Ⅰ期（令和 3 年度）：令和 2 年度調査で関心の高かった企業や団体、協議会関係者から参加を募るクローズ型社会実験「かさまつ mina TRY」を実施。

第Ⅱ期（令和 4 年度）：実施期間の「夏」「秋」「冬」に適したコンテンツの可能性を探るべく、様々なタイプの社会実験を実施。

ex ビアガーデン、宿泊キャンプ、防災デイキャンプ、町主催（リバーサイドカーニバルやスーパーカー展示）との連携イベント 等

4. 第Ⅱ期概要

(1)形態：第Ⅰ期同様、事務局と関心の高かった企業や団体、協議会関係者と事業内容の協議を重ねて内容を決定。一部事業については参加を一般募集し、オープン型社会実験を実施する。

(2)一般募集：多様な社会実験の実施を目的に、参加事業者を HP や SNS 等で広く募集する。事務局にて内容等の事前相談を受け、リバーサイドタウンかさまつ計画に即した事業であれば可とする。判断に迷うようであれば複数の協議会委員へアドバイスを求め可否を判断する。

(3)運営：役割分担は以下のとおり

参加事業者：日程や時間帯・準備・撤収を含む事業詳細の計画立案、計画に基づいた実施運営、情報発信 等

事務局：全体管理、関係機関（木曾川上流河川事務所や消防・漁協等）との調整、安全確保、情報発信 等

(4)期間：8 月上旬から 12 月上旬頃（予定）

(5)その他：当面は役場企画課が事務局を担うが「都市・地域再生等利用区域」指定後の民間主導による運営体制の確立も図るものとする。